

全国学力・学習状況調査考察

今年度行われた「全国学力・学習状況調査」(小学6年対象)の本校の結果に基づいた考察がまとまりましたのでお知らせいたします。国語・算数の領域ごとに精査し、本校の課題を明らかにした上で、今後の改善の検討を行いました。今後、成果と課題や改善の方向を基に、家庭と連携を図りながら指導を充実させてまいります。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

【児童質問紙調査の結果】

《生活面》

○肯定的な回答（当てはまる、どちらかといえばあてはまる）の割合が全国より高いもの

- ・朝食を毎日食べていると答えた子の割合が高い。
- ・先生は、よいところを認めてくれていると答えた子の割合が高い。
- ・学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると答えた子の割合が高い。

△否定的な回答の割合が全国より高い、もしくは肯定的な回答の割合が全国より低いもの

- ・毎日、同じくらいの時刻に寝たり起きたりしていると答えた子の割合が低い。
- ・将来の夢や目標をもっていると答えた子の割合が低い。
- ・友達関係に満足していると答えた子の割合が低い。



朝食を毎日食べていると答えている子の割合が高い反面、規則正しい生活の点で課題がみられます。学級活動等での生活の振り返りや懇談などのご家庭との情報共有を大切にしたいです。また、学年や学級、委員会、クラブ学習での話し合いや、学習場面を中心とした日々の取組を通して、さらに子どもたちの自己有用感を高めていきたいと考えています。

《学習面》

○肯定的な回答（当てはまる、どちらかといえばあてはまる）の割合が全国より高いもの

- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると答えた子の割合が高い。
- ・学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う子の割合が高い。
- ・算数の勉強は大切で、授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと答えた子の割合が高い。

△否定的な回答の割合が全国より高い、もしくは肯定的な回答の割合が全国より低いもの

- ・学校が休みの日や平日の学校の授業時間以外に、1日当たり1時間以上勉強していると答えた子の割合が低く、学習塾や家庭教師に教わっていると答えた子の割合も低い。
- ・読書時間(平日授業以外)が0~30分と答えた子の割合が最も高く、読書好きの子の割合も低い。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと答えた子の割合が低い。
- ・国語や算数、英語の勉強は好きと答えた子の割合が低い。
- ・国語の授業の内容はよく分かると答えた子の割合が低い。



全国の結果と比べて、学校以外での勉強時間が短いことがわかりました。特に国語の学習における子どもたちの取組への評価が全般的に低く、学習に対してあまり前向きに取り組めていない傾向がみられます。自主学習については今年度も取り組んできているところですが、分からなかった所を見直して次の学習につなげたり、自分で課題を立てて調べたことを整理してまとめたりするなどの取組を一層大切にしたいと考えます。

【国語】

本校の概要

【内容】

□〔思考力、判断力、表現力等〕

・「話すこと・聞くこと」

◇全国平均とほぼ同程度の正答率となっている。

・「書くこと」

◇全国平均を下回る正答率となっている。

・「読むこと」

◇全国平均とほぼ同程度の正答率であるが、やや下回っている。

□〔知識及び技能〕

「(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項」

◇全国平均を下回る正答率となっている。

「(2) 情報の扱い方に関する事項」

◇全国平均を下回る正答率となっている。

●記述式の解答における無回答が多い。

今回の調査における課題

●「話すこと・聞くこと」

話し手の意図を捉え、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

●「書くこと」

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

●「読むこと」

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付け、理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

●(1)言葉の特徴や使い方に関する事項
送り仮名に気を付けて、漢字を文の中で正しく使うこと。

(2)情報の扱い方に関する事項
情報と情報との関係について理解すること。

●記述式の無回答や最後まで問題を解いていない。「考えをまとめ、書く」に課題。

改善の方向

□話し手と自分の考えを比較して共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめる学習活動の充実。

□観察や実験、調査の結果などの記述において、図表やグラフを用いて自分の考えを深めたり、相手にとってよく理解できるものにしたる活動の充実を図る。

□目的に応じて、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりしながら、既有的知識や理解した内容と結び付けて自分の考えを形成させる活動の充実。

□漢字を書く機会を意図的・計画的に設定する。日常的に国語辞典や漢字辞典の利用を習慣付けるようにする。

□朝読書などを通して、長い文章を読む活動を充実させる。

□日常の学習の振り返りなどで、短い時間で自分の考えを適切な表現で書く活動を充実させる。

【算数】

本校の概要

【領 域】

「数と計算」

◇全国平均を下回る回答率となっている。

「図形」

◇全国平均とほぼ同程度の正答率であるが、やや下回っている。

「変化と関係」

◇全国平均を下回る回答率となっている。

「データの活用」

◇全国平均を下回る回答率となっている。

今回の調査における課題

●「数と計算」

- ・一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすること。
- ・（ ）を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ること
- ・示された場면을解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること。

●「図形」

- ・正方形や正三角形の意味や性質について理解すること。

●「変化と関係」

- ・伴って変わる二つの数量について、変化の特徴を読み取って知りたい数を求めたり、その求め方について、式や言葉で説明したりすること。

●「データの活用」

- ・グラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述すること。
- ・二次元の表から、条件に合う数を読み取ること。

改善の方向

□ $50=5\times 10$ のような数のつくりを意識しながら、作った式の意味を考えながら計算する取組を大切にする。

□式を場面と関連付けて読み取りながら、場면을式に表し、問題解決する活動を充実させる。

□図形を構成する要素とその関係に着目し、図形を弁別する取組を充実させる。

□図形を比較したり作図したりする活動を通して、図形の構成要素に着目し図形を考察する学習活動を充実させる。

□伴って変わる二つの数量の関係について、変化の特徴を考察して規則性を見付けるとともに、見付けた規則性を基に、筋道を立てて考え、知りたい数量の大きさを求める学習活動を充実させる。

□示されたグラフから、データの特徴を捉え考察したり、見いだしたことを表現したりする活動を大切にする。

□目的に応じてデータを集め、観点を決めて分類整理し、データの特徴や傾向を読み取る学習の充実。